

東二幼だより

どろんこ

学校法人 曾根学園
東二番丁幼稚園
令和4年度 2月号

今年に入り暖かい日が続いていたので、本来の冬の寒さを忘れかけていましたが一気に寒さがやってきました。そして、念願の雪も降り、子どもたちは大喜びで雪の感触を味わい、雪だるまをつくったりそり遊びをしたりなど様々な雪遊びを楽しんでいました。室内ではお店屋さんごっこが大繁盛です。年中児がリボン屋さんを開くと年少児が喜んで買いに行き、年長児がラーメン屋さんやネイル屋さんなどを出店すると年少・中児が嬉しそうに子どもたちだけで買い物をしていました。クラスの枠を超えて関われるこの時期だからこそその姿だと微笑ましく思います。

2月は豆まき会、お別れ会などもあり、ますます異年齢交流の活動が増えます。クラスはもちろん全園児で過ごす時間を大切にしながら、みんなで楽しく充実した園生活が送れるよう努めてまいります。



～あきらちゃん&ジャンプくん

あそびうたファミリーコンサート～

親子で踊って、笑って、とっても楽しいコンサートでした！今度は幼稚園にも遊びにきてほしいですね☆



とよたかずひこさんと絵本の会



もちつき会



餅花作り



引き続き

感染症の予防に努めましょう！

新型コロナウイルスが流行していますが、冬場はノロウイルスやインフルエンザ等の感染症も流行しやすい時期でもあります。引き続き、“手洗い・うがい・消毒”をしっかりと行い、感染予防に努めましょう。人混みを避けるのも予防です。そして何より、“早寝・早起き・朝ごはん”で体づくり。疲れを残したり、栄養が不足したりするとウイルスに感染しやすくなります。いっぱい遊んでしっかり休養し、体調を整えておきましょう。そして、朝なかなか起きられない・ぐずぐずする・微熱がある・食欲がないなどの場合は、早目に病院を受診し対応しましょう。

節分豆まき会



〈日時〉3日（金）9：40～

〈内容〉自分でつくった鬼のお面をかぶり、豆まき会に参加します。節分のお話を聞き、みんなで豆まきをして、自分の心の中の悪い鬼を退治します。

火災想定避難訓練

〈日時〉16日（木）10：00～

〈内容〉自由遊びの時間に、園に隣接する建物から出火し、園舎に延焼の恐れがあることを想定した避難訓練です。放送をよく聞き、落ち着いて行動することを学びます。

臨時休業日

17日（金）は新入園児一日入園のため、**臨時休業日**になります。年中児は新入園児が胸につけるかわいい名札を作り、年長児はプレゼントを作ります。**預かり保育は、“月契約の方”**となります。



横断歩道を渡りましょう！

幼稚園の玄関の前に、横断歩道があります。ここは東二番丁幼稚園児の安全のために特別に設けていただいた横断歩道です。登降園の時は、**親子で手をつなぎ、必ずこの横断歩道を渡ってください**。毎日の通園は安全な歩行の仕方や交通ルールを学ぶ良い機会です。保護者が自ら手本を示しながら、手をつないで歩く習慣をつけて、大切なお子さんを交通事故から守っていきましょう。



園長のひとりごと ～アンパンマンからのメッセージ～

幼稚園の玄関と園長室に「アンパンマン」をあしらったポスターが掲げてあります。赤地の中で太陽の光を浴びながら、アンパンマンが元気に飛び給柄です。『ああ アンパンマンやさしい君は いけ みんなの夢まもるため』というメッセージが入っています。

漫画家のやなせたかしさんが制作された作品です。やなせさんと言えば晩年はいつもお洒落な恰好で、華やかなご活躍が印象的ですが、体調が悪く2011年には漫画家を引退し、生前葬を計画していたそうです。そこに東日本大震災が発生し引退を撤回、生涯現役を宣言され、このポスターを制作されたそうです。ポスターと一緒に『今回の大震災では多くの人々が傷ついています。なんとかそういう人々をカブりたい、激励したいという気持ちで「アンパンマン応援ポスター」を創りました。活用して頂けると嬉しいです。』2011年4月吉日 やなせ たかし というメッセージも添えられています。

これをアンパンマン大使に届けて頂いたときは、子どもたちにすぐ紹介し、アンパンマンの歌を歌い、たくさんの元気・勇気をもらった思い出があります。

子ども時代に両親と別れて苦勞をし、青春時代は戦地で飢えと闘い、後に心優しい正義の味方「アンパンマン」を生み出す作者ご自身が、大変な苦勞や挫折を経験され、誰よりも弱者の痛みの分かる心優しい正義の味方になりました。

一見すると苦勞や不運に思える出来事こそが、後にその人を生かす天からの贈り物であることがやなせたかしさんの経験からも伝わって来るようです。辛いときこそ自分が自分の味方となって、自分を諦めないことが大事なんだと。

コロナが騒がれて丸3年。時代の流れも生活の流れも変わり、苦勞や精神的ダメージを経験された方が多いことと思います。是非、この経験を“天からの贈り物”に変えて新しい年をこれから楽しむ自分を創造するスタートの年にしていきたいものです。

「ほほえむことを忘れないで。涙は今もこぼれてるけど、すぎてしまえば夢とおなじさ」と、やなせたかしさんは詩集の中で言うておられます。